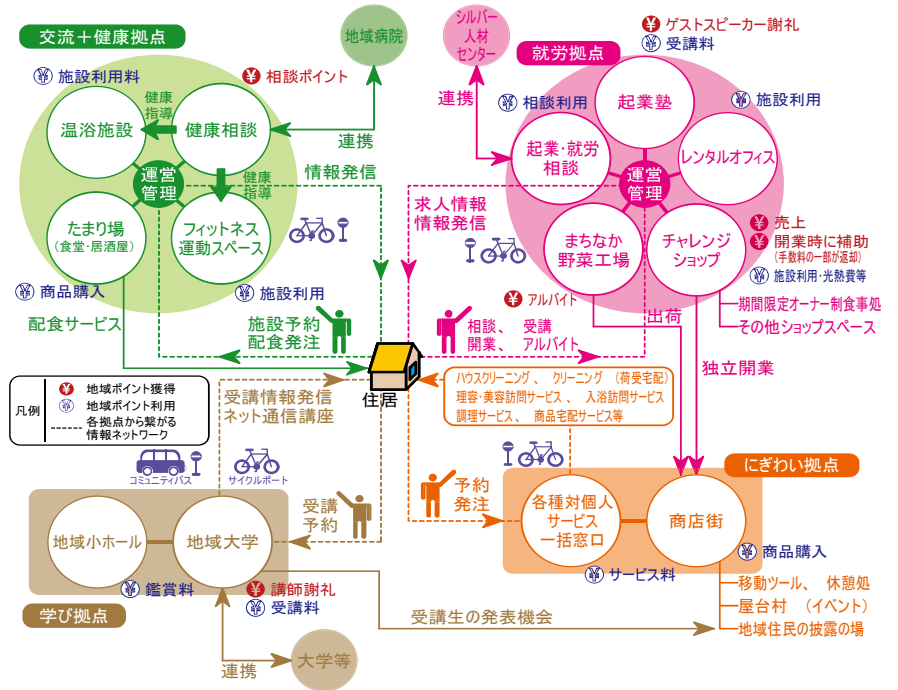


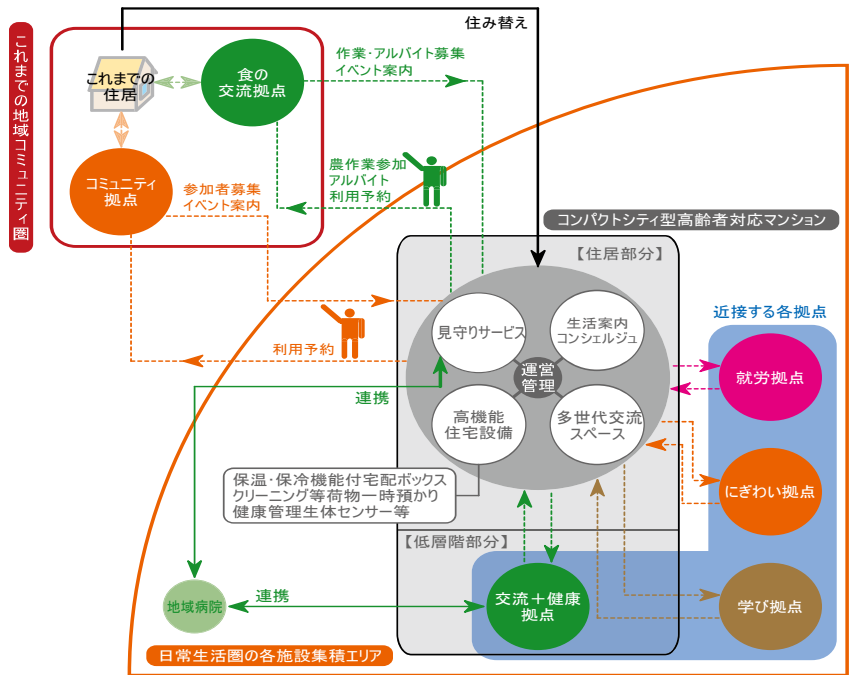
【住居⇄日常生活圏 における基本モデル】

移動拠点、交流+健康拠点、就労拠点、にぎわい拠点、学び拠点で構成され、移動拠点については、前述の「住居⇄地域コミュニティ圏における基本モデル」と同様に、自動車シェアリングやコミュニティバス、住居と各拠点とを結ぶサイクルポートを配置することを想定しました。



【中核拠点におけるコンパクトシティ型基本モデル】

日常生活圏の中核施設に近接していて、様々な機能を備えたコンパクトシティ型高齢者対応マンションに住み替えることで、本調査開発において定義した3つの生活環境機能である安全・安心な居住環境、充実感の持てる活動環境、和みある交流・癒し環境を享受することができるモデルとして検討をしました。



【ケーススタディ】

高齢者を支援するまちづくりのケーススタディとして、以下の地域を検討しました。

- 健軍商店街・県営住宅健軍団地：熊本県熊本市、○六ツ門商店街：福岡県久留米市、
- コンパクトシティへの取組：青森県青森市、○多摩平の森「たまむすびテラス」：東京都日野市、
- 高松丸亀町商店街：香川県高松市

【問合せ】

- 調査研究全般：一般財団法人 機械システム振興協会 TEL:03-6848-5036
- 本研究の詳細：株式会社 開発計画研究所 TEL:03-3811-5119